



捨印

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 30 年 6 月 28 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ タツノチガッホウサイ サケイジッコウインカイ
 団体名 竜之口学区防災マップ作成実行委員会
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ ジッコウインチョウ モリ タニ トシ アキ
 代表者氏名 実行委員長 守 谷 俊 昭

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	竜之口学区防災マップ作成
事業実施小学校区・地区	竜之口学区
事業実施回数	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 回目 / 【 年度から】
課題	(学区の実情) 1. 自然災害が少ない地域で学区民の災害に関する意識が薄く、その為一部の町内会は防災マップを作成しているが学区全体では防災マップは無く、何の対応、対策がとれていないのが現状です。 2. 学区は避難時の連絡網が徹底しておらず、各町内会も把握できていない。 3. 災害時は学区全体の防災マップが無いので個々の町内会の判断で行動、又、一時避難場所・二時避難場所の避難経路についても徹底されていない。 これらの学区の実情を考えると、下記の諸問題があげられる。
	(課題) 1. 災害時の対策マニュアルや避難マニュアルがない。 2. 学区は避難経路や一部の町内会を除いて危険個所が共有できていない。 3. 学区は防災訓練は毎年実施しているが避難訓練はできていない、又、各町内会の平常時の避難訓練の徹底が必要と学区全体の避難訓練の実施が必要。 4. 要救護者の対策が把握できていない。

事業の目的	<p>いざ災害が発生した時に地域の全住民が、最大限、安全にそしてより適正に避難活動ができることが必要であり、個人・地域・行政が情報共有しやすい仕組みを作っていくことを目指すため、学区全体の共有実践資料として「竜之口防災マップ」の作成を目指す。具体的には、このマップを活用し災害時の一時避難場所や二次避難所、危険区域、や通行不可の可能性のある道路、子どもたちの通学路途上の危険個所などを書き込み、避難訓練や平常時に確認できる資料を作成する。</p>
事業の内容	<p>1.情報収集と掲載情報の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区内の危険場所・消火器設置場所・消火栓の位置、通学途上の危険個所、一次避難場所(緊急的に一時避難する場所)、二次避難所(学区・行政が指定した施設で宿泊可)などのデータを各町内会より収集し、マップに落とし込む。 ・各町内会の避難ルートの確認。 ・要支援者の把握と援助手段。 <p>2.校正及びマップの印刷。</p> <p>3.学区全体へ「防災マップ」完成の案内。</p> <p>4.各町内会、公共施設、必要施設などに配布。</p> <p>5.「竜之口防災マップ」を使った図上防災訓練(DIG)、実際の避難訓練などの実施。</p>
期待される成果・目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害情報、避難情報等を学区民が共有し、災害時に於ける避難が可能になる。 2. 今後、このマップを活用して毎年、色々なテーマで防災訓練ができるようになる。 3. 学区民全体の防災意識の高揚を図る事ができる。 4. 学区は宅地開発も多くマップの定期的な見直しも必要となる。
企画などの工夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学区内の危険場所については大人と子供、高齢者の相違がある、多くの意見を取り入れる。 2. 高齢者はマップのサイズにより文字が見えにくいいため、主施設等の文字、色等を見やすくする。 3. 学区住民に分りやすいマップの作成
協働する団体等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の公共施設 2. 地域のスーパー・商店等 3. 学校・消防署・警察署

事業の 情報公開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学区連合町内会の幹事会等でマップ作成について各町内会へ情報伝達する。 2. 各町内会へマップを配布する。 3. 市の主要な施設へマップを配布する。 4. マスコミに発表。 5. 電子町内会で公開する。
学区 地区 への 広がり	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数年前から連合町内幹事会等で機会ある事に防災マップの必要性を説明。 2. 連合町内会を基に各町内会からマップ作製に委員を選出し、また各種団体へも参加を呼びかけ色々な目線から防災意識を高める。
前 年 度 か ら の 見 直 し 拡 充 点	
次 年 度 以 降 の 予 定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 31 年度、マップを活用して学区防災訓練を実施する。 2. 平成 32 年度、31 年度実施した学区防災訓練の反省点・問題点等を検討・見直す。 3. 平成 33 年度、問題点等をマップへ反映する。
そ の 他 P R し た い 点	

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月 日	活動内容
4月	全体会議
5月	
6月	
7月	準備会議
8月	危険箇所・施設等を各町内会で調査
9月	危険箇所・施設等を各町内会で調査 マップの原稿作成
10月	マップの原稿作成
11月	マップの原稿最終確認 校正
12月	印刷発注
1月	印刷完了
2月	マップを各戸へ配付 マップを関係する主要な施設へ配付 反省会
3月	監査 総会

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金		208,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金		52,000	竜之口学区連合町内会
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計		260,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費		250,000	A2用紙 3,000枚×80円 会議用コピー
会議費		10,000	お茶 100本×100円
計		260,000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	・	<input type="checkbox"/> 希望しない
-----------	--	---	--------------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

印刷代支払

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。